

平成30年(2018年)8月7日

豊中市廃棄物減量等推進審議会
会長 渡辺信久様

豊中市長 長内 繁樹

一般廃棄物の減量の促進及び適正処理に関する事項等について（諮問）

このことについて、次のとおり意見を求めます。

記

1. 第3次豊中市ごみ減量計画の総括について
2. 第4次豊中市ごみ減量計画の進行管理について

（趣旨）

豊中市では、平成22年度（2010年度）に「第3次豊中市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、「協働とパートナーシップに基づき『もったいない』のこころでつくる循環型社会」を基本理念に掲げ、焼却・破碎等処理されるごみの量を平成32年度（2020年度）には、平成21年度（2009年度）より20%削減することを目標に、市民・事業者・行政の三者で取組みを進めてきました。この結果、ごみの量は平成26年度（2014年度）までは順調に減少しましたが、近年は大規模集合住宅の建替え等による人口増加の影響もあり、ごみの量は増加傾向にあります。

「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」では、「第3次豊中市一般廃棄物処理基本計画」の基本理念を発展させ、発生抑制・再使用・再生利用の考え方から、すべての市民・事業者・行政の今後の行動指針となって欲しいという思いを込めて、「協働で取り組む循環型社会の構築」を基本理念として定め、新たな減量目標として平成39年度（2027年度）には平成28年度（2016年度）実績より焼却処理量を8%削減させ、大阪府内自治体の上位水準を上回ることを掲げました。この目標達成に向け、ごみ減量のこれまでの取組みを継続・強化していくとともに、食品ロスの削減に向けた取組みの拡充、地域での3R活動の活性化、事業系ごみ減量の取組みの促進などに力を入れて取り組むこととしています。

この度、「第3次豊中市ごみ減量計画」の計画期間の進捗状況を取りまとめ、総括を行うとともに、新たに策定した「第4次豊中市ごみ減量計画」の進行管理の進め方等について、本審議会に意見を求めるものです。